

佐藤慎一（ベース）

慶応義塾大学を卒業後、バークリー音楽院に入学。作曲を専攻するが連日マーク・ターナー、ジョシュア・レッドマン、カート・ローゼンヴィンケルらとセッションを繰り返しジャズに開眼しベーシストとしてボストンで活動開始。帰国後はオノセイゲン、白庭潤、SoulBossa Trio、上妻宏光、noon、守屋純子、大野俊三、森山良子、綾戸智恵、小野リサ、SomBrasilなどと録音・ライブで活動する。海外フェスでは'97 ノースシー、'04 リンカーンセンター、'08 モンタレー、'10 上海万博などに出演。'06 初CD「レ・フリーク」を発表し、各方面メディアから絶賛される。コントラバスを故江口朝彦、吉田秀氏に師事。

高橋 徹（ドラム）

山形県酒田市生まれ。

ジャズの伝統に根ざしスイングするプレイスタイルはベテランから若手まで多くのミュージシャンから絶大な信頼を得て、全国各地での演奏やレコーディングなどで活躍中。

演奏活動の他に国立音楽大学ジャズ専修の講師として「ジャズドラム」「ジャズの歴史」の講義で教鞭とり後進の指導にもあたっている。

2021年初リーダーアルバム「TOKYO GROOOVIN' HIGH!」発表。

落語芸術協会の三遊亭小遊三ひきいる「にゅうおいらんず」のレギュラードラマーでもある。

<http://www.torutakahashi.com>